



高市首相の

非核三原則

見直しに

怒りの声

原爆ドーム前で「被爆者の声に真摯（しんじ）に耳を傾け、非核三原則の堅持、核兵器禁止条約に署名・批准を」とアピールする集会参加者
=11月21日、広島市

高市首相は非核三原則（核兵器を作らず、持たず、持ち込ませず）の見直しをくりかえし主張、著書で「邪魔になる」とまで公言しています。被爆者をはじめ「核兵器のない世界」への願いをふみにじる動きに怒りの声がひろがっています。

日本共産党は、非核三原則の法制化、核兵器禁止条約への日本の参加をめざして、みなさんと力を合わせます。

唯一の被爆国

日本は核廃絶の 先頭に

日本被団協、日本原水協、原水禁は共同で、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名提出集会（写真）を行い、334万9012人分を外務省に提出=11月21日、東京都千代田区

